

平成24年度一般会計・特別会計・企業会計の各決算をはじめ、平成25年度一般会計・特別会計補正予算や条例制定などの議案を、各常任委員会で審査しました。

●平成24年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定 ～防災費～

Q 防災資機材を購入する際に、9/10の補助をする制度は、3年間限りであり、平成25年度までと聞いている。来年度以降はどうなるのか。

A 第4次地震被害想定では、食糧の備蓄を3日分から7日分にすることになった。それを考えるとまだまだ足りないと考えている。引き続き補助するよう検討していきたい。



HUG訓練（避難所運営ゲーム）

●袋井市休日急患診療室条例

Q 外科ではどの程度の患者を診察してくれるのか。診療は日曜・祝日の日中とのことだが、平日の夜間についてもセンター化はできないか。

A 診療対象は切り傷程度。明らかな骨折や救急搬送は、中東遠総合医療センターで対応する。在宅輪番制からセンター化への変更に伴う混乱を避けるため、まずは休日をセンター化し、将来的には夜間の在宅輪番制をセンター化へ移行していけるよう、袋井市医師会と協議を進めたい。

●「彫刻のあるまちづくり」基本計画（素案）

Q 計画全体に文化芸術志向は強く感じられるが、コンセプトは。

A ①愛野駅のエコパ通り ②袋井駅から市役所まで ③愛野公園及び親水公園の3つのゾーニングを考えている。袋井駅から市役所までのゾーンは、母性、家族愛、子育てがテーマで、愛野公園及び親水公園のゾーンは、鑑賞するだけでなく直に触れて遊ぶ対象となるように整備している。このほか、子ども達が制作段階から関わり合い、完成後は学校のシンボルとして親しまれるような彫刻を小学校に設置したい。

●平成24年度袋井市一般会計歳入歳出決算認定～森町袋井インター通り線建設促進期成同盟会負担金～

Q 森町袋井インター通り線の県道昇格及び早期事業化に関して、要望書を県に出したが、これに対する県の意向・見通しはどう承知しているか。

A 内陸フロンティアの検討も進められており、その計画によっては、産業道路として非常に重要な路線になる。多額の事業費が問題ではあるが、重要な路線として県は位置づけている。

●平成24年度袋井市水道事業会計決算認定～建設改良費～

Q 水道管の耐震化について、現状と今後の対応をどう考えているか。

A 口径150mm以上の基幹管路の耐震化率は31.1%となっている。残りの管路を全て耐震化するためには約81億円が必要と見込んでいる。本年度、水道ビジョンを見直す中で、耐震管適合率についても検証し、今後老朽管の更新を進める中で耐震化を進めてまいりたい。